

# いちご<sup>いちえ</sup>会とちぎ大会

第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

第22回全国障害者スポーツ大会  
栃木県準備委員会

## 第2回会議



平成29年11月14日(火)  
栃木県庁舎北別館会議室403



# 第 22 回全国障害者スポーツ大会栃木県準備委員会

## 第 2 回会議 資料目次

○第 2 回会議資料目次		P1
○報告事項	第 17 回全国障害者スポーツ大会愛顔つなぐえひめ大会の 視察及び栃木県選手団結果報告について	P3
○審議事項		
第 1 号議案	第 22 回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針（案）について	P15
第 2 号議案	第 22 回全国障害者スポーツ大会 広報基本方針（案）について	P16
第 3 号議案	第 22 回全国障害者スポーツ大会 実施競技及び競技運営主管団体（案）について	P17
第 4 号議案	第 22 回全国障害者スポーツ大会 マスコットキャラクター（案）について	P18
○協議事項		
協議事項 1	第 22 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等養成基本方針（素案）について	P20
協議事項 2	第 22 回全国障害者スポーツ大会 ボランティア養成基本方針（素案）について	P22
協議事項 3	第 22 回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本方針（素案）について	P25



第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」の視察及び  
栃木県選手団結果報告について



1 大会日程

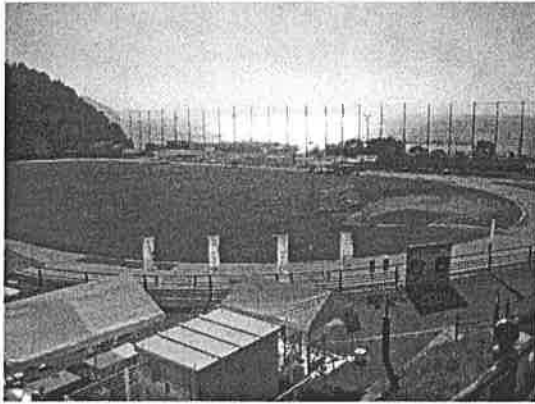

日付	大会日程	行事等
10月26日(木)	選手団来県	・選手団来県
10月27日(金)	選手団来県 公式練習等	・全国代表者会議 ・監督会議 ・公式練習
10月28日(土)	大会1日目	・開会式 ・競技
10月29日(日)	大会2日目	・競技
10月30日(月)	大会3日目	・競技 ・閉会式
10月31日(火)	選手団離県	・選手団離県

2 選手団来県

選手団到着時の松山空港	歓迎セレモニー
	

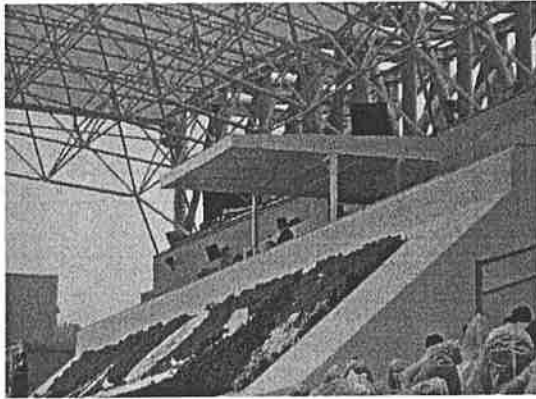



3 公式練習

陸上競技	フライングディスク
	


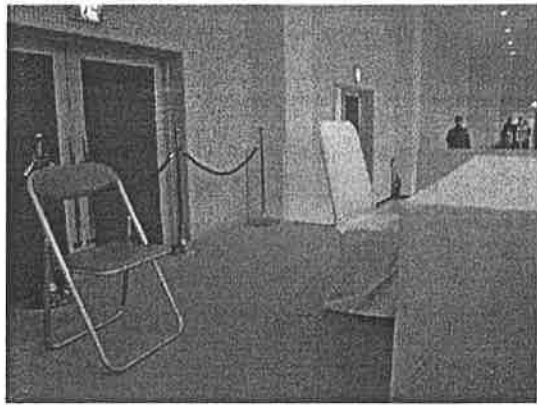
サッカー	卓球
	

#### 4 開会式

オープニングプログラム (県民パフォーマンス)	オープニングプログラム (えがおダンス)
	
役員・選手団入場	開会宣言・大会会長あいさつ
	

<p>皇族のおことば</p>	<p>炬火入場・点火</p>
	
<p>歓迎演技①</p>	<p>歓迎演技②</p>
	

5 競技会場  
(1) 行啓

<p>還啓</p>	<p>ロイヤルボックス</p>
	

(2) 会場設営

<p>陸上競技</p> 	<p>水泳</p> 
<p>アーチェリー</p> 	<p>卓球</p> 
<p>卓球 (サウンドテーブルテニス)</p> 	<p>フライングディスク</p> 



ボウリング



バスケットボール



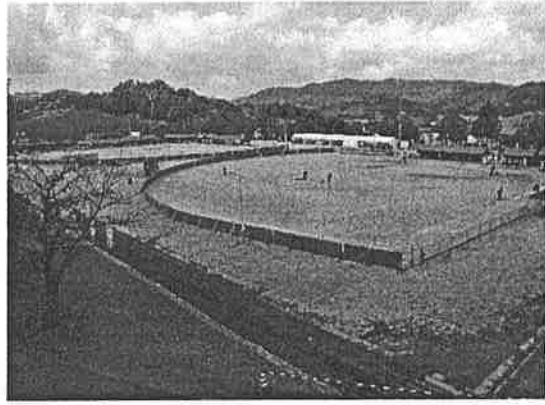
車椅子バスケットボール



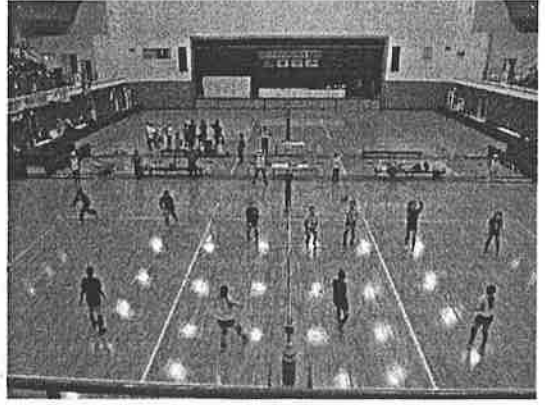
ソフトボール





グランドソフトボール





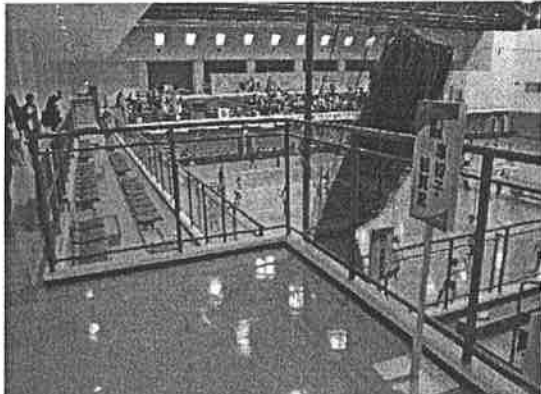

バレーボール (身体)



<p>バレーボール (知的)</p>	<p>バレーボール (精神)</p>
	
<p>サッカー</p>	<p>フットベースボール</p>
	
<p>オープン競技 (肢体障がい者ボウリング)</p>	<p>オープン競技 (ブラインドテニス)</p>
	



その他（競技補助員）	その他（競技補助員）
	

(3) バリアフリー対策等

仮設多目的トイレ	床養生（ステップボード）
	
車椅子観覧席	情報保障席
	

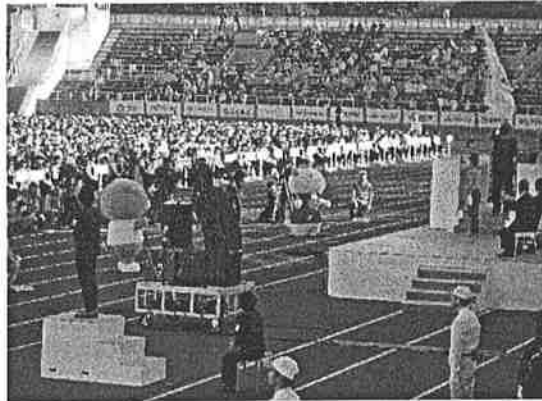
<p>モニター視聴装置</p> 	<p>磁気誘導ループ</p> 
<p>手話通訳・要約筆記受付</p> 	<p>車椅子貸出所</p> 

6 閉会式

<p>オープニングプログラム (えがお体操)</p> 	<p>オープニングプログラム (映像プログラム)</p> 
--	---



大会旗引継



ファイナルステージ



## 7 ボランティア

### (1) 運営ボランティア

会場整理



会場美化



### (2) 情報支援ボランティア

競技会場入口での歓迎



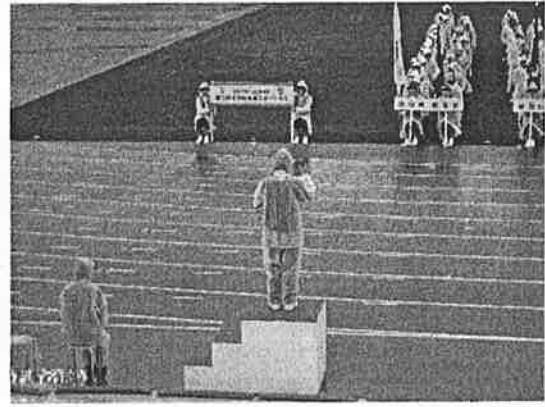
競技会開始式での情報保障



大型モニターによる情報保障



開会式における手話通訳



競技結果の記入



ユニフォーム



(3) 選手団サポートボランティア

選手の移動サポート

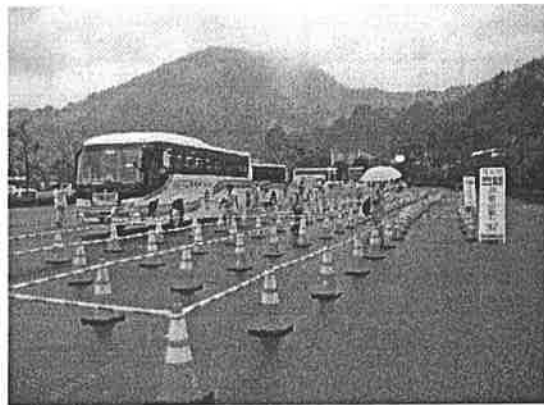


閉会式での見送り



8 その他

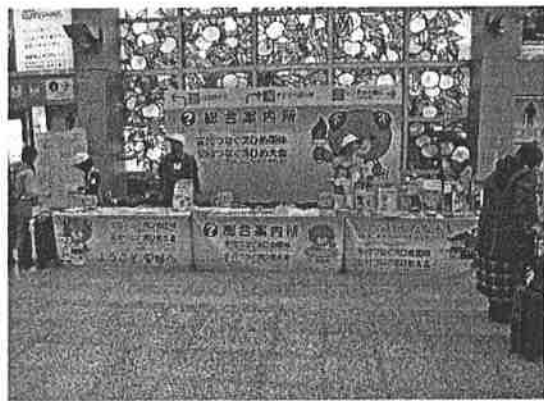
シャトルバス乗降所



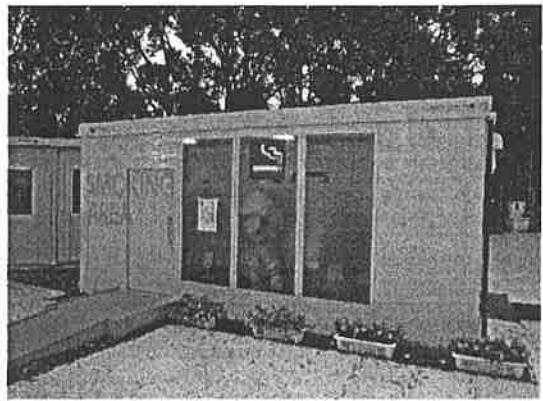
ふれあい広場（みきゃん広場）



空港総合案内所



喫煙所



9 本県の参加状況（過去2年間）

競技名		第16回岩手大会（H28）				第17回愛媛大会（H29）			
		選手数	メダル数			選手数	メダル数		
			金	銀	銅		金	銀	銅
個人競技	陸上競技	14人	6	7	3	15人	4	6	6
	水泳	4人	2	3	1	4人	3	3	1
	アーチェリー	1人	0	1	0	0人	0	0	0
	卓球（SSTを含む）	5人	0	3	1	4人	1	0	3
	フライングディスク	7人	0	0	2	5人	2	0	1
	ボウリング	1人	0	0	0	2人	0	1	1
	個人競技計	32人	8	14	7	29人	10	10	12
団体競技	バスケットボール	男子	（関東ブロック予選出場）			（関東ブロック予選出場）			
	バスケットボール	女子	（関東ブロック予選出場）			（関東ブロック予選出場）			
	車椅子バスケットボール		（関東ブロック予選出場）			（関東ブロック予選出場）			
	ソフトボール		（関東ブロック予選出場）			（関東ブロック予選出場）			
	グラウンドソフトボール		—			（関東ブロック予選出場）			
	バレーボール	身体男子	（関東ブロック予選出場）			（関東ブロック予選出場）			
		身体女子	（関東ブロック予選出場）			（関東ブロック予選出場）			
		知的男子	—			—			
		知的女子	—			—			
	精神		—			—			
サッカー		（関東ブロック予選出場）			（関東ブロック予選出場）				
フットベースボール		—			（関東ブロック予選出場）				
総計		選手数	メダル数			選手数	メダル数		
		32人	金	銀	銅	29人	金	銀	銅
			メダル数計29				メダル数計32		



## 第22回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針（案）

「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」で開催される第22回全国障害者スポーツ大会は、東京パラリンピックのレガシーを受け継ぎ、スポーツを通じて障害に対する理解を深め、障害者の社会参加に寄与し、障害のある人もない人も共に生きる社会を目指すとともに、とちぎの元気を全国へ発信する大会を目指し、次の4つを基本方針とします。

### ○思いやりの心を広げよう！

障害のある人もない人も、スポーツを通じて誰もが互いを尊重しながら、社会の担い手として活躍し、共に支え合いながら暮らし続けることができる共生社会をつくるために、思いやりの心をはぐくみ広げる大会にします。

### ○感動を未来へつなげよう！

スポーツを通じてすべての人が可能性にチャレンジし、新たな感動と出会うとともに、みんなに勇気を与えることで、人も地域も輝くことができる大会にします。

### ○とちぎの元気を届けよう！

とちぎの魅力・実力を国体と一体となってアピールするとともに、すべての県民が、とちぎの元気とおもてなしの心を全国に発信することで、日本中が元気になる大会にします。

### ○スポーツの力を実感しよう！

障害のある人がスポーツの喜び、楽しさを享受するとともに、持てる力と技を出し切ることができるよう、指導者の養成や選手の育成など、競技力の向上を図るとともに、スポーツを通じて、障害の垣根を越えた仲間を増やすことができる大会にします。

## 第22回全国障害者スポーツ大会 広報基本方針（案）

第22回全国障害者スポーツ大会の開催意義を広く県民に周知し、障害や障害者への理解を深め、大会への参加意識の高揚と県民総参加の実現を図るとともに、大会開催と栃木県の多彩な魅力を国内外に発信するため、第77回国民体育大会（以下、大会愛称「いちご一会とちぎ国体」とする）と一体となり、積極的な広報活動を展開する。

また、各報道機関が円滑な報道取材を行えるよう準備する。

### 1 広報活動

「いちご一会とちぎ国体」と一体となり、計画的かつ効果的な広報活動を展開することにより、大会開催の意義や県民運動の周知を図る。

#### (1) 各種の広報媒体を活用した効果的な広報の展開

ポスター、リーフレット、屋外広告物、テレビ、新聞、インターネット等の多様な媒体を活用し、障害のあるなしに関わらず、あらゆる人にとっての使いやすさ、分かりやすさに十分配慮するとともに、各段階に応じた効果的な広報を展開する。

#### (2) イベント等を利用した大会開催機運の醸成

関係団体の協力を得て、各地で実施される各種イベント等を活用したPRに努めるなど、大会開催機運の醸成を図る。

#### (3) 大会の愛称等の積極的な活用

大会の愛称、スローガン、マスコット、イメージソング等を積極的に活用し、広く周知を図るとともに、親しみやすい大会を演出する。

#### (4) 「いちご一会とちぎ国体」との連携

「いちご一会とちぎ国体」と一体となり、大会開催機運の醸成や県民運動の効果的な推進を図る。

### 2 大会の記録

大会の記録映像及び記録写真集等を制作し、その感動と興奮を永く記録にとどめるとともに、障害者スポーツの振興及び障害に対する理解の促進や差別解消の推進に活用する。

### 3 報道取材

全国から参集する報道関係者の取材活動に対応するため、「いちご一会とちぎ国体」と合同で「報道委員会」を設置し、報道に関する調整を図る。

## 第22回全国障害者スポーツ大会 実施競技及び競技運営主管団体（案）

- 実施競技は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会が定める「全国障害者スポーツ大会競技規則」に基づき、個人競技及び団体競技あわせて13競技を実施予定。
- 競技運営は、公益財団法人日本体育協会に加盟する開催地都道府県の関係競技団体及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会登録競技団体等が主管するとされている。
- 競技種目は、平成34年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」に定めるところによる。

競 技 名		区 分	競技運営主管団体
個人 競 技 (6 競 技)	陸上競技	身・知	一般財団法人栃木陸上競技協会
	水泳	身・知	栃木県水泳連盟
	アーチェリー	身	栃木県アーチェリー協会
	卓球 [STT(身)を含む]	身・知	栃木県卓球連盟
	フライングディスク	身・知	栃木県障害者フライングディスク協会
	ボウリング	知	栃木県ボウリング連盟
団 体 競 技 (7 競 技)	バスケットボール	知	一般社団法人
	車椅子バスケットボール	身	栃木県バスケットボール協会
	ソフトボール	知	栃木県ソフトボール協会
	グラウンドソフトボール	身	
	フットベースボール	知	
	バレーボール	身・知・精	栃木県バレーボール協会
	サッカー	知	公益社団法人栃木県サッカー協会

※実施競技は、平成29年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」による。

## 第22回全国障害者スポーツ大会 マスコットキャラクター（案）

## 1 概要

第22回全国障害者スポーツ大会における広報活動の一つとして、第22回全国障害者スポーツ大会を象徴し、広く県民に愛されるようなマスコットキャラクターを制定する。

## 2 第22回全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター

いちご一会とちぎ国体と一体となった普及啓発を行うため、国体のマスコットキャラクターに合わせ、「とちまるくん」とする。



## 3 マスコットキャラクターのデザイン作成について











現在制作中の第77回国民体育大会のマスコットキャラクターのデザインを踏襲しつつ、障害者スポーツの要素を付与するなどデザイン変更を行い、第22回全国障害者スポーツ大会仕様のマスコットキャラクターとする。

また、各競技や情報保障等の各事業等に対応するデザインを必要に応じて作成する。

※ ナイチュウ(とちぎナイスハート推進マスコットキャラクター)については、全スposスペシャルサポーター（仮称）として、大会のPRに積極的に参加



先催県の国体・大会マスコットキャラクター比較

平成 29 年開催 愛媛県	愛顔つなぐえひめ国体	愛顔つなぐえひめ大会
	 みきゃん	 みきゃん (大会バージョン)
平成 30 年開催 福井県	福井しあわせ元気国体	福井しあわせ元気大会
	 はぴりゅう	 はぴりゅう (大会バージョン)
平成 31 年開催 茨城県	いきいき茨城ゆめ国体	いきいき茨城ゆめ大会
	 いばラッキー	 いばラッキー (大会バージョン)
平成 32 年開催 鹿児島県	燃ゆる感動かごしま国体	燃ゆる感動かごしま大会
	 ぐりぶー	 ぐりぶー (大会バージョン)
平成 33 年開催 三重県	三重とこわか国体	三重とこわか大会
	 とこまる	 とこまる (大会バージョン)

## 第22回全国障害者スポーツ大会 競技役員等養成基本方針（素案）

円滑な競技運営と、障害者スポーツの普及・振興を図ることを目的として、競技運営主管団体等の協力のもと、競技役員及び競技補助員を養成する。

競技役員は、競技運営や審判、競技記録等の業務を行う。  
競技補助員は、競技役員の指示を受けて、競技運営の補助を行う。

## 1 競技役員等及び養成協力団体（想定）

競技名		競技役員	競技補助員	競技運営主管団体	協力団体
個人競技	陸上競技（身・知）	370人	200人	一般財団法人 栃木陸上競技協会	高等学校・短期大学・大学・専修学校等
	水泳（身・知）	120人	80人	栃木県水泳連盟	
	アーチェリー（身）	40人	100人	栃木県アーチェリー協会	
	卓球（身・知） [S T T（身）を含む]	180人	40人	栃木県卓球連盟	
	フライングディスク（身・知）	130人	190人	栃木県障害者フライングディスク協会	
	ボウリング（知）	40人	30人	栃木県ボウリング連盟	
	小計	880人	640人		
団体競技	バスケットボール（知）	70人	60人	一般社団法人 栃木県バスケットボール協会	
	車椅子バスケットボール（身）	50人	60人		
	ソフトボール（知）	80人	40人		
	グランドソフトボール（身）	100人	40人	栃木県ソフトボール協会	
	フットベースボール（知）	70人	40人		
	バレーボール（身・知・精）	120人	270人	栃木県バレーボール協会	
	サッカー（知）	90人	60人	公益社団法人 栃木県サッカー協会	
	小計	580人	570人		
合計	1,460人	1,210人			

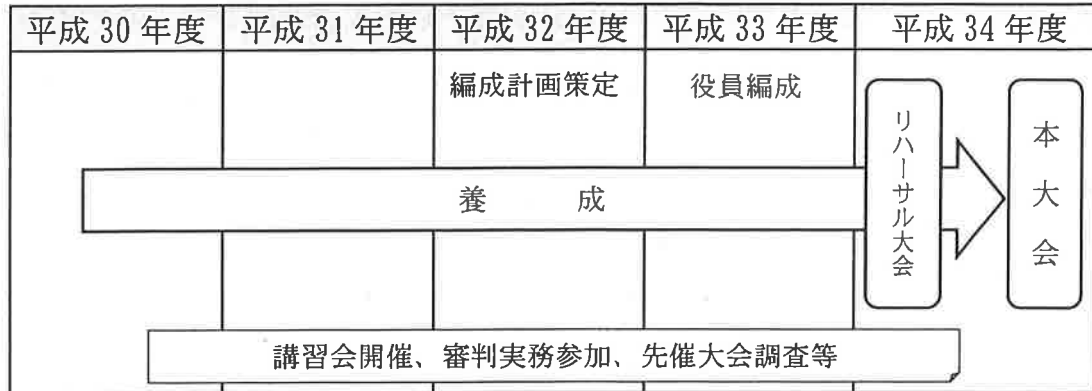
※実施競技は、平成29年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」による。

## 2 競技役員等の養成計画

### (1) 競技役員

競技運営を円滑に実施するため、障害者スポーツに対応できる役員を養成する。

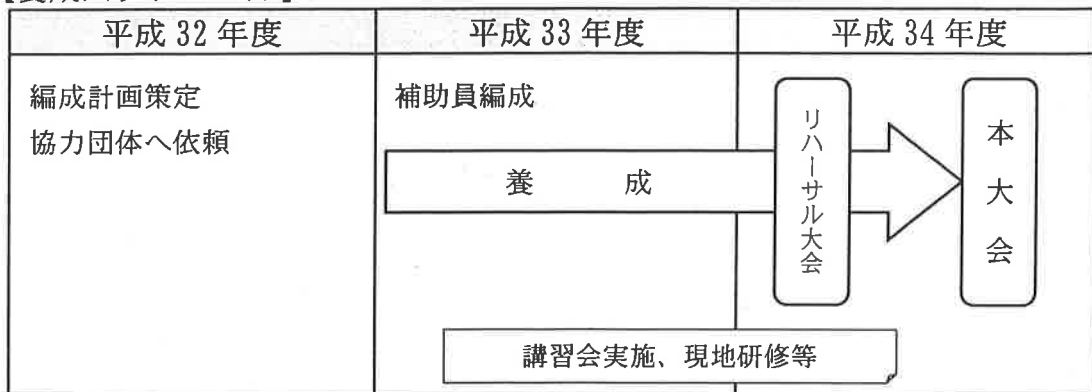
#### 【養成スケジュール】



### (2) 競技補助員

競技役員の手配を受けて競技運営を補助する競技補助員を養成する。

#### 【養成スケジュール】



## 第22回全国障害者スポーツ大会 ボランティア養成基本方針（素案）

「いちご一会とちぎ大会」に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員その他関係者（以下「大会参加者」という。）及び一般観覧者に対して、心のこもったボランティア活動を展開するため、県民総参加で大会参加者や観客を温かくもてなす「大会運営ボランティア」をはじめ、手話や要約筆記等の専門技能で情報提供を行う「情報支援スタッフ」、選手団と行動を共にし、選手の実力を最大限に引き出す「選手団サポーター」など、多様なボランティアを計画的に養成する。

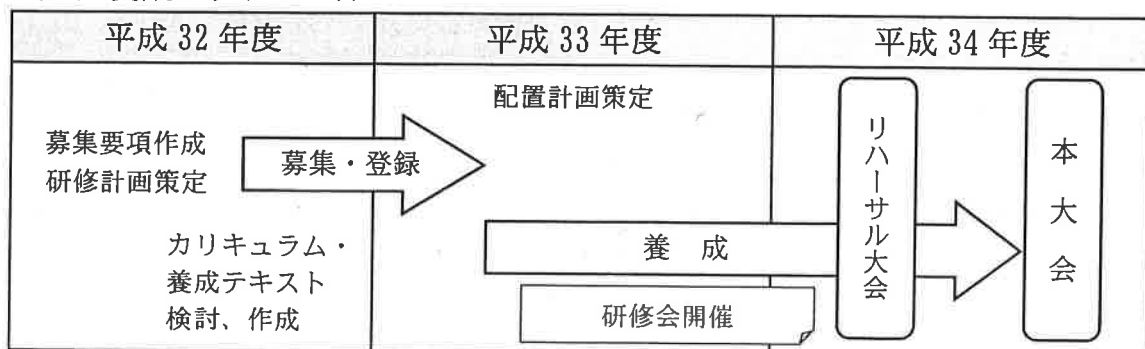
### 1 大会運営ボランティア

県民総参加で大会参加者や一般観覧者をおもてなしの心でお迎えするため、「いちご一会とちぎ国体」と一体となって、大会運営ボランティアを広く一般から募集する。

#### (1) 種別及び内容（想定）

種 別	内 容	人 数
案内・介助	総合案内所などでの案内・誘導・介助	3,500人
会場整理	観客の改札、案内、誘導等	
会場美化	飾花の管理、会場内の清掃等	
会場サービス	弁当・飲み物の配布等	
式典	開・閉会式の式典補助	
ふれあい広場	ふれあい広場の運営補助等	

#### (2) 養成スケジュール





## 2 情報支援スタッフ

聴覚障害者への情報保障を図るとともに、すべての人に分かりやすい情報提供を行うため、関係団体等の協力を得ながら、各種情報支援スタッフを養成する。

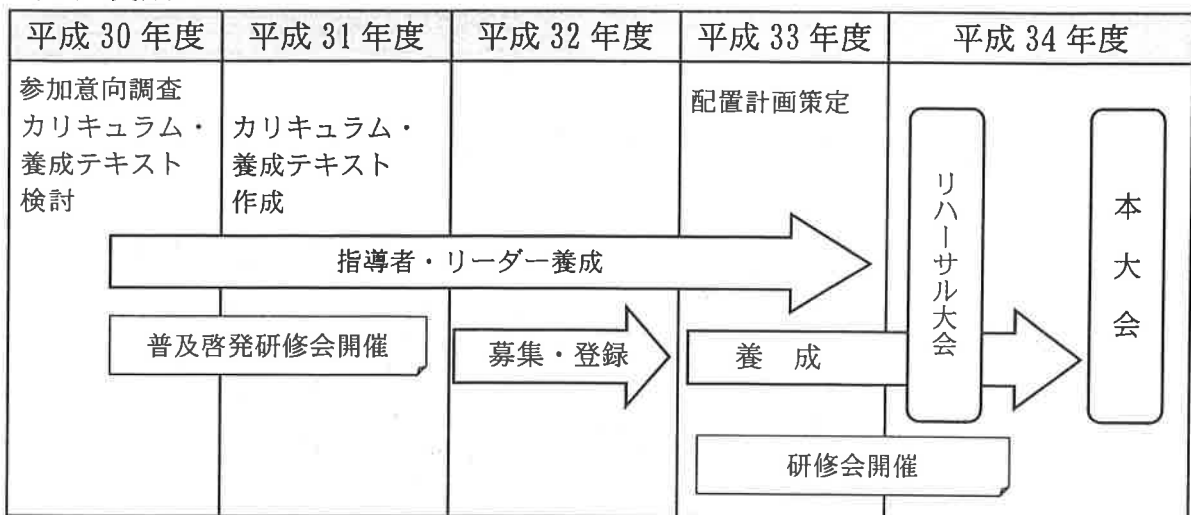
### (1) 種別及び内容 (想定)

種 別	内 容	人 数
手 話	手話による情報の提供及びコミュニケーション保障	400人
要約筆記 (手書き)	ノートやホワイトボードを使用した情報の提供	150人
要約筆記 (PC)	パソコンに入力したデータ情報による情報の提供	50人

### (2) 養成協力団体

社会福祉法人栃木県社会福祉協議会 (とちぎ視聴覚障害者情報センター) など

### (3) 養成スケジュール



### 3 選手団サポーター

大会に参加する選手及び役員の介助・誘導等のサポートを行い、大会運営の円滑化を図るとともに、選手との交流を通して次世代の若者が障害のある人への理解を深め、大会終了後も、ボランティアとして地域で活躍するきっかけとなるよう、学生で構成する選手団サポーターを養成する。

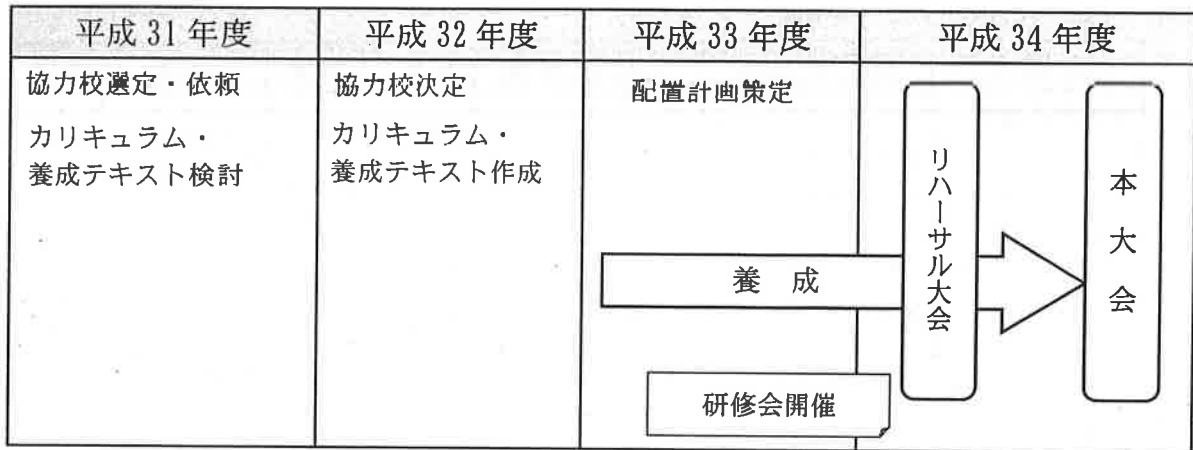
#### (1) 種別及び内容 (想定)

種 別	内 容	人 数
選手団サポート	選手団の歓送迎・介助・誘導・交流等	800人

#### (2) 養成協力団体

大学・専門学校 等

#### (3) 養成スケジュール



## 第22回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本方針（素案）

第22回全国障害者スポーツ大会（以下、大会愛称「いちご一会とちぎ大会」とする）の県民運動は、第77回国民体育大会（以下、大会愛称「いちご一会とちぎ国体」とする）と一体となり、県民一人ひとりが「いちご一会とちぎ大会」への理解を深め、様々な形で参加、協力することにより、県民すべてが夢と希望を抱き、感動を分かち合うとともに、来県者をおもてなしの心で温かく迎える大会の実現を目指して展開する。

また、「いちご一会とちぎ大会」開催を契機に、障害者スポーツのより一層の普及・振興を図るとともに、障害の有無に関わらず県民誰もが共に支え合う「共生社会」の実現に寄与することを目的とする。

### 1 県民運動の推進

#### (1) 基本目標

- ア すべての県民が両大会のイベントやボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる。
- イ すべての県民が来県者を心のこもった温かいおもてなしで迎える。
- ウ すべての県民が障害者スポーツとの様々な関わりを通じて、障害者スポーツに対する意欲や関心を高め、障害者スポーツ活動に親しむ。
- エ すべての県民が障害や障害者に関する理解を深め、障害のある人もない人も共に支え合う心を醸成する。
- オ すべての県民が来県者との交流を通じて、多彩な栃木の魅力を発信する。

#### (2) 県民運動の進め方

- ア 県民運動は、県民一人ひとりの様々な活動への自発的、積極的な参加を基本として推進する。
- イ 関係機関・団体、学校、企業、NPO、ボランティア等は、県民運動の担い手として普及・啓発を行うとともに、それぞれが連携を図りながら、自主的な活動を積極的に行う。
- ウ 県準備（実行）委員会は、「いちご一会とちぎ国体」と一体となった普及・啓発活動を行うとともに、市町や各種団体等と連携を図り、全県的な運動の展開を支援する。
- エ 市町村準備（実行）委員会等は、県民運動の普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力して、地域の特性に応じた活動を推進する。

### 2 児童生徒等の参加の促進

児童生徒等の障害や障害者に対する理解を深めるとともに、障害者スポーツの普及を進めるため学校等との連携を図り、式典への参加や競技会場での応援など、「いちご一会とちぎ大会」への参加を促進する。

### 3 ふれあい広場の設置

県、会場地市町、福祉関係団体、ボランティア団体等と連携し、開・閉会式会場及び競技会場に「ふれあい広場（仮称）」を設置する。

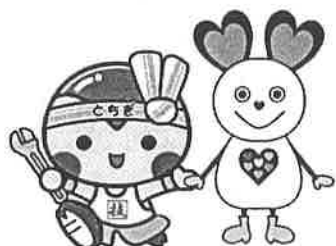


とちぎから未来へ翔く技と夢



とちぎ  
技能五輪・アビリンピック  
2017

第55回技能五輪全国大会  
平成29年11月24日(金)～11月27日(月)  
第37回全国アビリンピック  
平成29年11月17日(金)～11月19日(日)



大会マスコットキャラクター  
とちまるくん ナイチユウ

とちぎ技能五輪

検索



VERY   
GOOD  
LOCAL

---

とちぎ

---

とちぎブランド推進のキャッチフレーズ

---

ベリー      グッド      ローカル      とちぎ  
VERY  GOOD LOCAL

「グッドローカルなとちぎが地方のモデルになっていこう。」  
ローカルの良さが詰まったとちぎが、前向きな決意を込めて宣言します。